SHARP

AQUOS オーディオ

シアターラックシステム

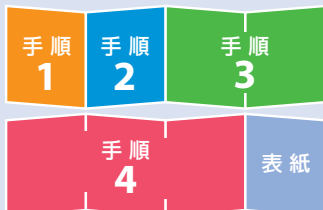
形名

AN-AR630
AN-AR530
AN-AR430

・本「かんたん!!ガイド」では、特に機種名を明示している場合を除いてAN-AR430を例にとって説明しています。
AN-AR630／AN-AR530は外形寸法や棚板などは異なりますが使いかたは同じです。

ファミリンク機能を使うための かんたん!!ガイド

最初に
お読みください

本書は、設置およびアクオスに連動して動作するファミリンク機能を使うための接続・設定・操作方法をまとめたガイドです。
ファミリンク機能以外の内容については、取扱説明書をご覧ください。

手順1 設置する

手順2 アクオスやレコーダーと接続する

手順3 アクオスやレコーダーの音声を本機で聞くように設定する

手順4 アクオスやレコーダーの音声を本機で聞く

ファミリンク機能とは…

- **本機とファミリンク対応の当社製アクオスやブルーレイディスクレコーダー、ハイビジョンレコーダーなどの機器を HDMI ケーブルで接続することで、これらの機器が相互に連携し動作する機能です。**
- **アクオスのリモコン（またはファミリモコン）をアクオスに向けて操作することにより、アクオスの動作に連動して本機の電源「入 / 切」や音量調整、消音、音声切換などを行うことができます。**
  詳しくは、取扱説明書 28 ページをご覧ください。

ファミリンク対応機種については… シャープホームページまたは当社液晶カラーテレビの総合カタログをご覧ください。

シャープホームページでの確認方法

アドレスを入力しAQUOSオーディオのページを開き、
「AQUOSファミリンク対応状況」で確認ください。

http://www.sharp.co.jp/support/an/index.html

故障かな?と思ったら•••

・本機の電源が入らない
・アクオスのリモコンで操作できない
・音や映像が出ない
…などのときは、取扱説明書**38〜40**ページをご覧ください。

使い方や修理のご相談など

【お客様相談センター】
0120 - 001 - 251

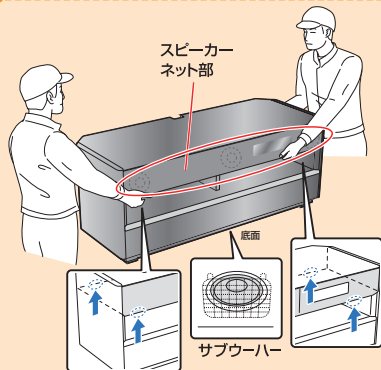
受付時間 月曜〜土曜：9:00〜20:00 日曜・祝日：9:00〜17:00 〈年末年始を除く〉

ご質問やメールでのお問い合わせは【サポートページ】
http://www.sharp.co.jp/support/

※詳細は、取扱説明書の裏表紙をご覧ください。

Printed in Malaysia　10P06-MA-NK　TINSJA399WJZZ

手順1 設置する

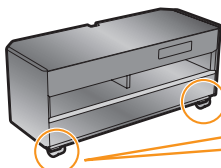
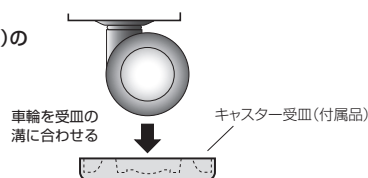
ご注意

「持ち運びする」ときは…

- 本機は非常に重いので、持ち運びなどの作業は必ず2人以上で行ってください。
- 前面のスピーカーネット部を強く押したり、触らないようにしてください。持ち運びするときは、天板部下側の⬆マークの部分を持ってください。
- 床などにキズをつけないよう十分に気をつけてください。
- 底面中央部には、サブウーハーと重低音を拡散させるための部品（ディフューザー）がついています。物にぶつけて破損させないよう、十分気をつけてください。

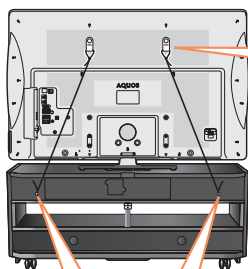
お知らせ
- 本機には、キャスターがついています。

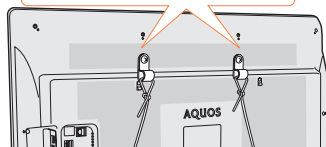
①本機を部屋に設置する

- テレビやレコーダーなどを設置したり、接続したりするときの作業スペースを確保のうえ、本機を設置してください。

・指をはさまないように、気をつけて作業を行ってください。

キャスター受皿をキャスター（前側２ヶ所）の下に敷く

本機を部屋のコーナーや壁に寄せて設置する場合には、あらかじめ以下の作業を行ってください。
1. テレビやレコーダーなどと接続するケーブル類を本機に接続しておいてください。
2. テレビやレコーダーなどを設置するために必要なケーブル類や転倒防止用のひもなどを配置しておいてください。本機や接続した機器の電源コードやケーブル類を壁などに挟み込まないようにご注意ください。

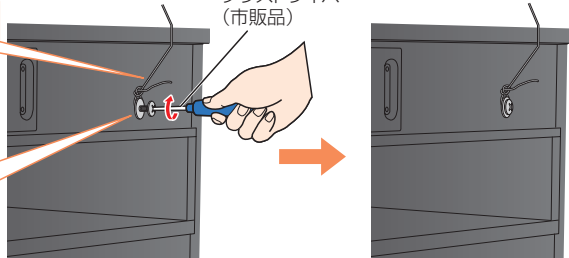
②テレビやレコーダーなどを設置する

本機にテレビを設置する際は本機の中央に載せ、安全のためテレビの転倒防止策の実施をお願いします。
天板耐荷重:約60kg
棚板耐荷重:約10kg×3(AN-AR630)、約10kg×2(AN-AR530/AN-AR430)

テレビ側　アクオスの例

クランプ（アクオスに付属）

- 詳しくはご使用のテレビの取扱説明書をよくご覧のうえ実施ください。

本機側
本機背面にテレビ転倒防止用部品（ネジ）取付部が左右２ヶ所あります。
この取付部に付属のネジとワッシャーを取り付け、市販の丈夫なひもなどを使って、テレビ本体とつないでください。

ひもなどを使って
テレビ本体とつなぐ

テレビ転倒防止用部品（ネジ）取付部にネジとワッシャーを取り付ける（左右2ヶ所）

- この転倒防止策は一例で、テレビを前方向に倒れにくくするものです。後方向に対しては効果がありません。

手順2 ファミリンク機能を使うために アクオスやレコーダーと接続する

接続するときは、それぞれの機器の電源コードを抜いてから行ってください。
また、それぞれの機器の取扱説明書もよくご覧ください。

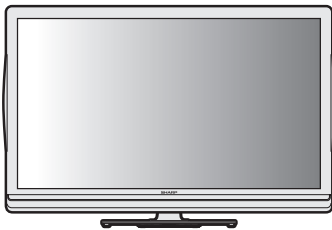
HDMIケーブル 付属品 または 市販品
（2m以下のHDMIロゴ表示のあるハイスピードタイプ対応のHDMIケーブルをお買い求めください。）

光デジタル音声ケーブル 市販品

- HDMIケーブルや光デジタル音声ケーブルを使用する前に、**保護キャップがついている場合は取り外して**接続してください。
- HDMIケーブルが2本以上必要なときは市販品をお買い求めください。
- HDMIケーブルは取り付け後、必ずケーブルを固定ホルダーにて固定してください。（取扱説明書20ページをご覧ください。）

ファミリンク対応アクオス

デジタル音声出力端子へ
デジタル音声出力（光）

HDMI入力端子へ
HDMI入力（入力1）

・ARC（オーディオリターンチャンネル）対応アクオスの音声を聞く場合は、ARC対応のHDMI入力端子（入力1）と接続し、アクオスの「リンク操作」―「ファミリンク設定」―「ARC設定」を「自動」モードに設定してください。

光デジタル音声ケーブル 市販品

ARC非対応アクオスの音声を本機で聞くための接続（ARC対応アクオスの場合はこの接続は不要です。）
ファミリンクのための接続

テレビ端子へ

HDMIケーブル 付属品

コントロール信号およびレコーダーの映像・音声をアクオスで見たり聞いたりするためやARC対応のアクオスの音声を本機で聞くための接続
ファミリンクのための接続

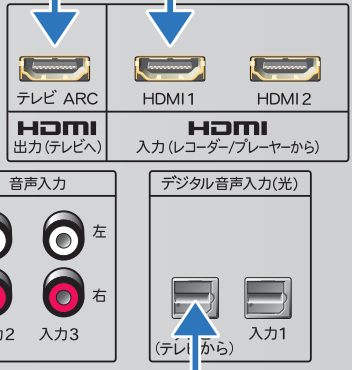
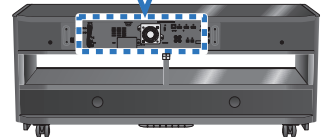
HDMI出力（ARC）端子へ

ファミリンク対応 ブルーレイディスクレコーダー／ハイビジョンレコーダーなど

HDMI出力
HDMI出力端子へ

HDMIケーブル 市販品

コントロール信号およびレコーダーの音声を本機やアクオスで聞き、映像をアクオスで見るための接続
ファミリンクのための接続

HDMI1入力端子へ

本機背面アンプ部

テレビ ARC
HDMI1
HDMI2
HDMI 出力（テレビへ）
HDMI 入力（レコーダー/プレーヤーから）

音声入力
左
右
入力2
入力3

デジタル音声入力（光）
（テレビから）
入力1

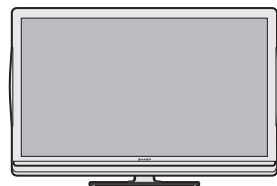
電源コード（約1.5m）

本機（背面）

- すべての接続が終ってそれぞれの機器の電源プラグを差し込むときは、テレビの電源プラグを最後に差し込んでください。
- HDMIケーブルの抜き差しや接続方法を変えた場合は、全ての機器の電源を入れた状態でテレビの電源を入れ直してください。

手順3 ファミリンク機能を使うために アクオスやレコーダーの音声を本機で聞くように設定する

アクオスのリモコンを使って
アクオス側の設定を変えます

新製品や旧製品などのファミリンク対応アクオスと組み合わせてご使用の場合は、操作方法や表示内容が本書と異なる場合があります。ご使用になるアクオスの取扱説明書も併せてご覧ください。

アクオスに向けて操作します。

アクオスのリモコン(例)

・アクオスのリモコンは本機の付属品ではありません。
・アクオスのリモコンは機種によって仕様が異なります。

デジタル放送の番組に合わせて本機のサウンドモードが自動で切り換わるように設定する

ジャンル連動

• ジャンル情報の詳細につきましては、おもて面をご覧ください。

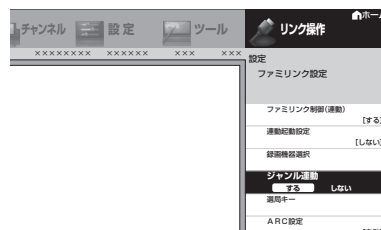
1 ホーム を押す

• ホームメニュー画面が表示されます。

2 で「リンク操作」－「ファミリンク設定」を選び、決定 を押す

アクオスの画面例

3 で「ジャンル連動」を選ぶ

4 で「する」を選び、決定 を押す

アクオスの画面例

本機の表示部

5 ホーム または 終了 を押す

• ホームメニュー画面が消えます。

ジャンル連動を解除するには…

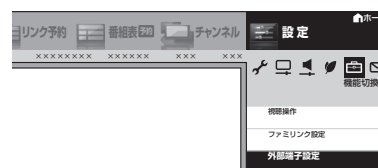
上記の手順4で「しない」を選び、決定 を押します。

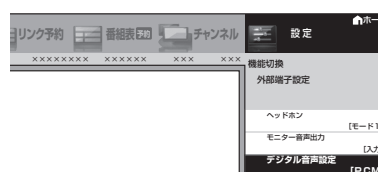
デジタル放送のサラウンド番組を臨場感のある音声で聞けるように設定する

• 設定する前に、アクオスの入力切換を「テレビ」にしてください。

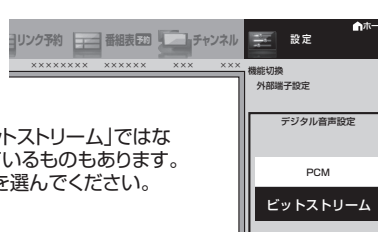
1 ホーム を押す

• ホームメニュー画面が表示されます。

2 で「設定」－「(機能切換)」－「外部端子設定」を選び、決定 を押す

アクオスの画面例

3 で「デジタル音声設定」を選び、決定 を押す

アクオスの画面例

4 で「ビットストリーム」を選び、決定 を押す

アクオスの画面例

・製品によっては「ビットストリーム」ではなく「AAC」と表示しているものもあります。その場合は「AAC」を選んでください。

5 ホーム または 終了 を押す

• ホームメニュー画面が消えます。

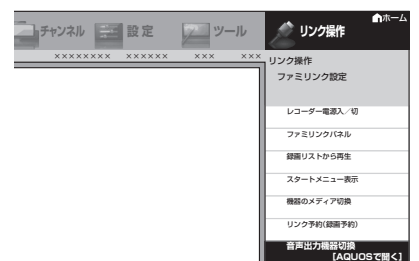
「PCM」に設定した状態では・・・
・サラウンド番組において十分なサラウンド効果は得られません。
・二重音声番組の受信中に、本機のリモコンで音声切換の操作をしても音声を切り換えることはできません。
本機から聞こえる音声を切り換えるには、アクオスのリモコンをアクオスに向けて操作します。
このとき、本機の表示部には音声モードの表示はされません。
本機に音声モードの表示をさせるには、「ビットストリーム」または「AAC」に設定してください。

アクオスやレコーダーの音声を本機で聞くように設定する

アクオスのリモコン(またはファミリモコン)で、アクオスと連動して本機の電源を入れたり、音量や消音、音声切換の操作ができるようになります。
• 新製品や旧製品などのファミリンク対応アクオスと組み合わせてご使用の場合は、操作方法や表示内容が本書と異なる場合があります。ご使用になるアクオスの取扱説明書も併せてご覧ください。

1 ホーム を押す

• ホームメニュー画面が表示されます。

2 で「リンク操作」－「音声出力機器切換」を選び、決定 を押す

アクオスの画面例

3 で「AQUOSオーディオで聞く」を選び、決定 を押す

アクオスの画面例

4 ホーム または 終了 を押す

• **ホームメニュー画面が消えます。**

・ファミリンク動作時(「AQUOSオーディオで聞く」モードの時)は、アクオスと本機の両方から同時に音声を出すことはできません。

アクオスから音声を聞くように戻すには…

上記の手順3で「AQUOSで聞く」を選び、決定 を押します。

・本機は消音モード状態になります。
・本機の音量調整などは使用できなくなります。
・本機の電源を切っていても、レコーダーの操作をすると電源が入る場合があります。

手順4 ファミリンク機能を使って アクオスやレコーダーの音声を本機で聞く（アクオスのリモコンを使います）

アクオスに向けて操作します。

・アクオスのリモコンは本機の付属品ではありません。
・アクオスのリモコンは機種によって仕様が異なります。

本機から音声が出るように、アクオスを設定してください。
（設定方法については、うら面 手順3 の「アクオスやレコーダーの音声を本機で聞くように設定する」をご覧ください。）

アクオスの音声を本機で聞く

1 電源 を押す

- アクオスに連動して本機の電源が自動で入ります。
- 本機の入力切換が自動で「テレビ」になります。
- デジタル放送などのジャンル情報があるテレビ番組を本機で聞いているとき、番組に合ったサウンドモードに自動的に切り換わります。
（うら面 手順3 の「ジャンル連動」を「する」に設定している場合）

サウンドモード表示
表示例）ジャンル情報:ニュース

2 音量 を押して、音量を調整する（＋大きくなる／－小さくなる）

- アクオスと本機に音量レベルが表示されます。

約3秒表示

- 入力1、入力2、入力3に接続した他の機器の音声を聞きたいときは、本機の「入力切換」ボタンで聞きたい機器の入力を選んでください。
（取扱説明書**22**ページをご覧ください。）
- 他の機器の音声を聞いていた状態で電源を切り、アクオスの電源を入れるとアクオスに連動し入力が切り換わります。
- HDMI1やHDMI2に接続したファミリンク対応レコーダーを再生すると、本機とアクオスの入力がレコーダー側に自動で切り換わります。
（録画リストやスタートメニュー、番組表などの操作でも自動で切り換わります。）
- 本機にファミリンク対応レコーダーを2台接続している場合、後から再生などをしたレコーダーに自動で切り換わります。
- 本機のHDMI1とHDMI2の両方に接続したファミリンク対応レコーダーをアクオスのリモコンを使って切り換えるには、アクオスの「リンク操作」ー「ファミリンク機器リスト」を選んで、ご使用になりたい機器を選んでください。
製品によっては、操作方法や表示内容が異なる場合があります。その場合は、ご使用のアクオスの取扱説明書をご覧のうえ操作してください。または、本機のリモコンの「HDMI1」または「HDMI2」ボタンを押して入力を切り換えてください。

聞き終えたら

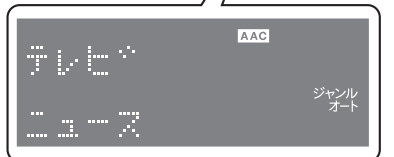
電源 を押して、電源を切る

- アクオスに連動して本機の電源も自動で切れます。

デジタル放送のテレビ番組ジャンル情報

デジタル放送などのジャンル情報があるテレビ番組を本機で聞いているとき、番組に合ったサウンドモードに自動的に切り換わります。
（設定方法については、うら面 手順3 の「ジャンル連動」をご覧ください。）

ジャンル情報（電子番組表）	放送の信号	サウンドモード
ジャンル情報がある番組（デジタル放送など）		
情報／ワイドショー／ドラマ／バラエティ／ドキュメンタリー／趣味／教育／福祉	ステレオ／マルチチャンネル	スタンダード*
映画	ステレオ／マルチチャンネル	シネマ
ニュース／報道	ステレオ／マルチチャンネル	ニュース
スポーツ	ステレオ／マルチチャンネル	スポーツ
音楽／劇場／公演	ステレオ／マルチチャンネル	ミュージック
アニメ／特撮	ステレオ	スタンダード
	マルチチャンネル	シネマ
ジャンル情報が認識できない場合		
地上アナログ放送やDVDソフトなど	スタンダードに設定されます。お好みのサウンドモードでお聞きになりたいときは、手動で切り換えてください。	

＊デジタル放送でもジャンル情報がない場合は、サウンドモードがスタンダードになります。

- サウンドモードが切り換わるとき、一瞬音声が途切れます。
- 放送信号の種類が切り換わるとき、一瞬音声が途切れることがあります。

サウンドモードを手動で切り換えるには･･･

- **新製品や旧製品などのファミリンク対応アクオスと組み合わせてご使用の場合は、操作方法や表示内容が本書と異なる場合があります。ご使用になるアクオスの取扱説明書も併せてご覧ください。**

アクオスに向けて操作します。

1 ファミリンク を押す

- ファミリンクパネル（機器選択パネル）が表示されます。

2 で「オーディオ」を選び、決定 を押す

- ファミリンクパネル（オーディオ操作パネル）が表示されます。

3 で「サウンドモード（マニュアル）」を選び、決定 を押す

- 製品によっては「サウンドモード（マニュアル）」ではなく、「サウンドモード切換」と表示されるものもあります。
- 決定 を押すたびに次の順に切り換わります。

スタンダード → シネマ → ニュース → スポーツ → ミュージック → ジャズ → クラシック → ロック → ゲーム → ナイト → ダイレクト → スタンダード

4 終了 を押す

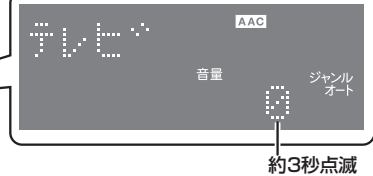
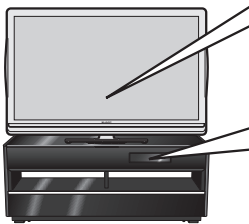
- ファミリンクパネルが消えます。

- ファミリンクパネルは時間が経つと消えますので、表示している間に操作してください。
- ファミリンクパネルが表示されないアクオスをご使用の場合は、本機のリモコンを使ってお好みのサウンドモードに切り換えてください。（**取扱説明書25ページ**）

アクオスに向けて操作します。

アクオスのリモコン（例）

一時的に音声を消すには（消音モード）

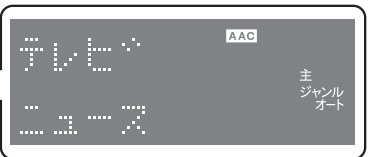
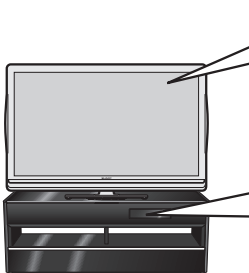
消音 を押す

消音モードを解除するには

- もう一度、消音 を押す　または 音量 を押す。

アクオスと本機の両方から音声を出したい場合は…

- アクオスから音声が出ている状態で、本機のリモコンを本機に向けて「消音」ボタンを押してください。
一時的に本機の消音モード状態が解除され、アクオスと本機の両方から音声が出ます。ただし、レコーダーを再生したときにアクオスと本機から出る音声にズレが生じる場合があります。
（電源の「入」や音量調整、入力切換などのファミリンクによる連動動作はしなくなります。）

二重音声番組の音声を切り換えるには

リモコンフタ内の 音声切換 を押す

- 音声切換 を押すたびに次の順に切り換わります。

主（主音声） → 副（副音声） → 主／副（主音声＋副音声） → 主（主音声）

レコーダーの二重音声番組を聞くときは…

- レコーダーに付属のリモコンをレコーダーに向けて「音声切換」の操作をしてください。
(レコーダーのデジタル音声出力の設定が「AAC」のときは切り換わらないことがあります。その場合は、レコーダーのデジタル音声出力の設定を「PCM」にしてください。)
- レコーダーのデジタル音声出力の設定が「AAC」の場合は、本機のリモコンを本機に向けて「音声切換」の操作をしても同様に切り換えできます。
- マルチ音声番組や複数の音声が収録されているBDやDVDの映画などの音声は、本機のリモコンで切り換えることはできません。接続している機器の音声切り換え機能をご使用ください。